



■発行所／(株) びゅ〜すまいる編集舗・みまもり未来プレス編集部
 ■2025年7月17日発行号 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

i-PRO

<https://corp.i-pro.com/ja-JP>

『会話できる見守りカメラ』介護・医療現場の安心と効率を両立

～i-PRO がスピーカー搭載の小型 AI カメラを 2025 年 9 月に発売～

港区のi-PRO株式会社は、映像と音声による双方向コミュニケーションを1台で実現するAIプロセッサー搭載の小型スピーカーカメラを、2025年9月に発売する。

監視感を抑えたシンプルかつスタイリッシュな外観に、広角レンズや暗所対応の赤外線LED、双方向通話機能、AIによる異常検知など、現場ニーズに応える多彩な機能を搭載。医療・福祉施設や無人店舗、小売店、フィットネス施設など、きめ細やかな対応が求められる現場での業務効率化と対応品質の向上を同時に支援する。

製品は、水平134°の広角レンズと照射距離20mのIR-LEDを内蔵し、夜間や暗所でも空間全体を鮮明に映し出す性能を備えている。さらに、マイクとスピーカーを標準搭載し、パソコンやスマートフォン、タブレットからの音声通話にも対応。離れた場所から映像を確認しつつ、必要に応じて現場訪問や音声によるコミュニケーションが可能となる。

また、用途に応じたAIアプリケーションをインストールすることで、指定エリアやラインでの異常を自動で検知し、警告音や音楽などの任意音声を再生する機能も搭載。万引き抑止やトラブルの早期対応に活用できるほか、プリインストールされた「AIプライバシーガード」が、利用者のプライバシー保護も担保する。

設置性の高さも本製品の特長である。Wi-Fiモデルでは、縦横2方向のアンテナ構成により設置場所の自由度が向上。壁面・天井・卓上と、状況に応じて柔軟な取り付けが可能なチルト機構も備えるため、初期導入のハードルが低く、

多様な現場での展開が期待されている。

i-PROでは、本製品の導入により「定期巡回の負担軽減」「夜間対応の省人化」「突発的な問い合わせやトラブルへの即応」「顧客との非対面コミュニケーションの強化」といった現場のニーズに応えるだけでなく、見守りの“質”そのものを引き上げると位置づけている。

【想定活用シーン】

医療・介護施設の見守り業務、夜間の訪室対応、無人店舗の接客支援、小売現場での異常検知・犯罪抑止、フィットネスやコインランドリーなどでの顧客サポートなど。



シニアが元気になると 日本が元気になる！

**元気シニア倶楽部
会員募集中!!**

— 入会費・年会費なし —

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
 tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



「親に免許を返してと言えない…」その悩み、ふるさと納税で解決の一步へ

～福岡発、免許返納“おためし体験”を応援する寄付プロジェクトが始動～ ——セーフライド——

高齢ドライバーの事故が社会課題となるなか、「親に免許返納を促したいけれど言い出せない」という子世代の悩みに応える新たな取り組みが注目されている。福岡市のスタートアップ企業『株式会社セーフライド』は、2025年7月より「ふるさと納税」を活用し、高齢者が1ヶ月間、車のない生活を実際に体験する『おためし免許返納体験』を支援するプロジェクトを開始した。

この体験では、公共交通や宅配サービスなどを活用することで、「車がなくても不便ではない」と本人が実感し、自発的な免許返納につながるという。

実際、滋賀県で行われた同様の事業では、返納率が全国平均の10倍に達した例もある。

ふるさと納税を通じて寄付すると、福岡市の返礼品も受け取れる仕組みで、支援のハードルが低い点も魅力の一つ。寄付金は体験運営や啓蒙活動、高齢者サポートの強化に活用される。

「事故を減らすだけでなく、卒業後の生活を豊かにしたい」と語るのは代表の山内紗衣氏。管理栄養士としての経

験からも、高齢者の生活と安全に寄り添う仕組みづくりを進めている。



<https://safe-ride.info>

次世代コンビニの新しい風『からあげクン』ロボ誕生

ローソン高輪ゲートウェイシティ店『TechMagic』の揚げロボット導入 —— TechMagic ——

テクノロジー企業『TechMagic』（東京都江東区）では、2025年6月、ローソン・KDDIと連携し、ローソン高輪ゲートウェイシティ店に揚げロボット『F-Robo』を導入した。

このロボットは、揚げ・油切り・盛り付けまでの一連の工程を自動でこなす設計で、作業負担の大きい調理業務を省力化。店舗スタッフはそのぶん、接客や売場づくりに集中できるようになる。

安全機能や設置のしやすさにも配慮された設計で、次世代コンビニのインフラとして注目を集めている。

『F-Robo』導入は、テックマジックが進める“人とロボットが共創する社会”の第一歩。今後は、顧客体験の向上やフードロス削減、エネルギー効

率の向上など、多方面での社会課題解決につながるロボット技術の活用が期待される。



<https://www.techmagic.co.jp/>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進
身近な**発明展**
ヒント

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人 発明学会

<https://www.hatsumei.or.jp/>

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレン・モンジュ・林野 均の「シニア`萬、遊記」第94回

自宅を基にした資金手当てにご注意を！

高齢になってくると老後資金の手当てに苦心されている方も多いのではないのでしょうか？ 十分な年金を貰っている方はそんなには多くないようですし、高齢になってくるとなかなか仕事もままならなくなります。そんな時に自宅を基に資金を工面することができると思うと、だれでも興味をもたれると思います。

広告などでも増えてきたのが「リバースモーゲージ」。これは、自宅を担保に生活資金を借入れし、自らの持ち家に継続して住み続け、借入人が死亡したときに担保となっていた不動産を処分し、借入金を返済する仕組みです。取り扱い金融機関により、最後に一括で返済する場合や、毎月利息を支払う場合など、仕組みには多少

の違いがあるようです。また、派生した「リバースモーゲージ型住宅ローン」という選択肢もあります。

もうひとつの方法は「リースバック」。居住している自宅を売却して代金を受け取ったあと、同じ物件に家賃を支払いながら住み続ける方法です。ふたつの仕組みの間の大きな違いは、物件の所有権がどちらにあるか、ということです。

そして、最近「リースバック」に関するトラブルが急増してきているようです。強引に勧誘された、あるいは家賃が値上げされて支払えなくなった事例など、2024年度は239件に達し、70歳以上の高齢者が約7割を占めるそうです。この種の契約はクーリングオフがで

きないため、国民生活センターからも簡単に契約しないように呼びかけがされているそうです。

また、国土交通省が「住宅のリースバックに関するガイドブック」を公表していますので、こちらも参考になるようです。



<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001487923.pdf>

Author／林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表／一般社団法人 日本元気シニア総研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310